



9年で太く、大きく

新泉・和泉という土地で育てる9年間
新泉・和泉地区小中一貫教育
学習案内

杉並区立 和泉中学校 杉並区立 新泉小学校 杉並区立 和泉小学校



新泉・和泉地区の新しい学校づくりに向けて

杉並区教育委員会

新泉・和泉地区に平成27年度、施設一体型小中一貫教育校を開校します。

杉並区では、小学校・中学校がそれぞれの役割を果たし、お互いが連携することにより、義務教育修了までに、すべての子どもたちが自立して社会で生き、豊かな人生を送るための自信となる人生の基盤を築くことを目的として、これまでも小中一貫教育をすすめてきました。

区立小中学校においては、まずは、子どもや教員同士が「知り合う」ところからはじめ、互いに「分かり合う」段階を経て、互いに「生かし合う」段階へと高めているところです。また、小中学校の教員同士が、学習内容の系統性や指導の連続性、小中学校の教員が複数で指導にあたる協力的指導などを意識し、9年間を見通した一貫性のある教育を実践しているところです。

この度、和泉中学校、新泉小学校、和泉小学校の教員が、施設一体型小中一貫教育校の開校を見据えて、義務教育9年間の連続性のある「学習案内」を作成しました。

この「学習案内」は、子どもたちが切れ目のない学びができるよう、各教科等の「基本的な学習指導計画」「小中一貫教育により、特に身に付けさせたい力」等を中心に構成してあります。今後は、実践を重ねながら、更により良い「学習案内」を作成していく予定です。保護者や地域の皆様方には、「学習案内」により3校の子どもたちが、具体的にどのような学びを通して成長しているのかを御理解いただき、平成27年度の開校に向けて、共に新しい学校を創り上げていくという視点から御支援いただきますようお願いいたします。

共に創る新泉・和泉地区の小中一貫教育 ～学習案内の発行にあたって～

杉並区立和泉中学校 校長 由井由昌
杉並区立新泉小学校 校長 木村恵子
杉並区立和泉小学校 校長 相馬季子

新泉・和泉地区の小中一貫教育は平成17年度にスタートし、今年度で8年を迎えました。第Iステージ(始動期)、第IIステージ(充実期)と着実に研究実践を積み重ね、現在は第IIIステージ(発展期)を迎えています。小学校と中学校が知り合うことから始め、わかり合う関係を作り、相互に生かし合う教育を行っています。

今年度も「未来への確かな力をはぐくむ小中一貫教育」をキャッチフレーズに、8教科部会と4教科外部会を組織し、8回の3校合同研究会を実施しました。また、①児童生徒および教員の交流の充実、②研究授業による指導の交流、③各教科およびその他のカリキュラム開発を3本柱として、研究を進めてきました。

今回、学習案内を作成するにあたっては、杉並区の小中一貫教育の取組視点である、6・3制を前提とした指導目標・内容の系統性や連続性を確保し、小中一貫教育で身に付けさせたい力を明確にしました。また、小学校と中学校の教員の協働(各々を生かし合う協力的指導)を推進し、新泉・和泉地区の地域や人材を生かす等、学びの重点ポイントを記載しました。この学習案内によって、新泉・和泉地区の小中一貫教育が保護者や地域の皆様に理解され、期待していただくこと。そして、共に新泉・和泉地区の教育を創っていただけることを願っております。

結びになりましたが、発行にあたり済美教育センターをはじめとした杉並区教育委員会、多くの関係者の皆様にご指導いただいたことに御礼を申し上げます。ありがとうございました。

もくじ	
はじめに	3
問題 6+3≤9	4
各教科の心意気	6
 国語	8
 社会	10
 算数／数学	12
 理科	14
 音楽	16
 図画工作／美術	18
 体育／保健体育	20
 家庭／技術・家庭	22
 英語活動／英語	24
 道徳	26



問題

小学校

中学校

小中一貫教育

$$6 + 3 \leq 9 \quad ?$$

となるのはなぜでしょう

答え 小学校と中学校の学びが「つながる」から

小学校と中学校のすべての教科において、9年間*にわたる学習計画を立てています。小学校で学んだことが中学校でどう生きるかというビジョンをすべての教員がもつことで、どの子にもゆるぎない学力をつけていきます。※理科・社会は7年間、技術家庭科は5年間です。

つながる9年間の学び
各教科ページには、小1から中3まで「学び」がどのようにつながるかの具体例を示しています。

答え

「6・3制のよさ」を生かした小中一貫教育だから

小6で最高学年の責任を果たしたうえで、満足感をもって中学生にステップアップしてほしい、それが杉並の小中一貫教育の姿勢です。小学校と中学校の区切りを成長のための大切な通過点として残しつつ、学びの面や心の面で生じる不安感やギャップを取り去ります。

答え

教員が児童・生徒の両方の現場で教育をするから

新泉小・和泉小・和泉中の教員は、どの学校でも教えることができます。中学校の教員が小学校で授業したり、小学校の教員が中学に入って授業のサポートをしたりすることで、学習効果が期待できます。

小中教員の協働
小中の教員が協力しあい連携しておこなう学習活動の例には、このマークが入っています。

答え

小中教員のディスカッションにより、教員が成長するから

小学校の指導方法と中学校の指導方法にはそれぞれのよさがあります。小中教員がそれぞれから学ぶことは多いものです。小中合同研修や小中での授業参観、そしてともに指導方法を考えることで、教員一人一人の指導力も向上していきます。

学びの重点ポイント
小中合同研修などの結果、「この先の学びにはこれが重要」と考えているポイントには、このマークが入っています。

答え

小学生が先輩を見習ってがんばれるから

小学生から見て中学生は大きく見えるものです。少子化で兄や姉のいない子も多い今の時代だからこそ、「少し年上の先輩」とともに学ぶのは貴重な体験。あこがれの気持ちは、向上心に結びつきます。

答え

中学生が小学生にやさしくできるから

悩み多い年頃である中学生が、小学生たちに接することで見本になる行動をとろう、自分の言動に責任をもとうとする「少し大人」の表情をみせてくれます。

答え

地域の大人たちが近くから、そして長いスパンで子どもを見守ってくれるから

地域との結びつきが強い新泉・和泉地区の学校。PTAや学校支援本部だけでなく、地域に住むたくさんの「大人たち」がここにはいます。無邪気な子どもが思春期を経て大人に近づく過程を、何年もかけて、見守ります。

答え

9年間を通してのキャリア教育ができるから

中学校の卒業は、義務教育の終了を意味します。このときまでに、自分の将来や進路について後悔しない選択ができる子に育てたいものです。地域の力を借りながら、小学生のうちから社会を見る力を養い、最終的には社会に貢献できる力を身に付けます。

答え

平成27年4月1日には一つの学校になるから

平成27年4月より、新泉小・和泉小・和泉中は、杉並区で初めての施設一体型の小中一貫教育校に生まれ変わります。一つの職員室、9つの学年、小中の壁を取り払った新校舎の中で、小中一貫教育の理想が実現されます。



このほかにもたくさんの「答え」が子どもの姿を通して見えてくるはず

「だから小中一貫教育!」 各教科の心意気を語らせていただきます



国語

国語はすべての教科の土台。9年かけて確実に、そしてグンと伸ばします。

国語力は、一朝一夕に身に付くものでも、才能で決まるものでもありません。年齢に応じた本を読み、友だちとの話し合い、自分の考えを話し、感じたことを書くという体験を1年1年積み重ねた果てに身に付き、そして花開くものです。中3で説得力のある持論を展開でき、多様な考えを伝え合う力を身に付けた子にする準備を、小1からじっくり始めていきます。



社会

小学校時代のノートを中学校でも活用して、知識理解を深めます。

地理と歴史は、小学校、中学校、そして高校で内容によっては3回学習することがあります。小学校時代の知識を中学で活用しないなんてもったいないと思いませんか？ 小5でつくる「都道府県特色ノート」は中学の日本地理の授業の導入に、小6でつくる「歴史人物ノート」は中学の歴史の授業に導入し活用します。学んだことに新しい知識を塗り重ねていきましょう。



算数／数学

「わかった!」のために、つまずきポイントを探し、振り返って学習します。

算数嫌いや数学嫌いの生みの親は「わからない」です。それは昨日今日の「わからない」ではなく、何年間も積み重なったわからなさである可能性もあります。なぜわからないのかを小1までさかのぼって振り返り、つまずきポイントからやり直せる、それが小中一貫教育の最大の魅力です。算数好きの子には「中学ではここが大切」とプラスαのアドバイスもしていきます。



理科

「不思議だな」と「なるほど」を繰り返し、理科好きを育てます。

観察や実験は、理科の学習が始まる小3からスタートします。最初は「電球の+極と-極をつなぐと明かりがつく」という単純な実験ですが、学年を経て実験は高度になり、中学校の電流回路や電圧などにつながっていきます。その過程を意識して指導することで、年齢に応じた「不思議だな」と「なるほど」を積み重ね、理科のおもしろさを伝えます。



音楽

音楽は一生の友。忘れられない音楽体験が待っています。

音楽は自分を表現する手段であり、一生の友でもあります。たとえば人前で話すことが苦手だった子が、合唱を通じて自己表現を学び、堂々と意見の言える子になることはよくあることです。「できなかったことができた」「クラスの心がまとまった」という感動体験もあります。そんな音楽の魅力を、小中の音楽教員が協力し合い、情熱をもって教えます。



図画工作／美術

6歳の無邪気な創造力を、15歳までのびやかに育てます。

小さな子は、みんなお絵かきや工作が大好きです。その自由で無邪気な創造力が、小中学校でさまざまな画材や道具、技法と出会うことで、豊かな「作品」を作り出すのです。手先の発達や知的な興味の高まりに合わせて、使う道具も技法もステップアップ。小中の美術専門教員がディスカッションしながら、時期に応じて一人一人の創造力をはぐくみます。



体育／保健体育

発達段階に応じた活動で、体を動かすことが好きな子を育てます。

遊びを通して全身の筋肉をまんべんなく使った子は、中学高校でどんなスポーツを始めても上手にできると思います。小中の教員が9年間を見通して学習計画を立てることで、低学年のころの体を使った遊びが、高学年や中学での「スポーツ」へと繋がっていきます。「しっぽとりおに」は「タッチフット」に、「鬼ごっこ」は「サッカー」に。大好きなスポーツを見つけましょう。



家庭／技術・家庭

将来の自立を意識しながら社会の中で生きてはたらく力を確実に育てます。

技術の授業は中学校から始まりますが、その下地は小学校の生活科や総合的な学習の時間、図工の時間で培われ、中学の高度な学びへ引き継がれていきます。学習内容は多岐にわたりますが、根底に流れるのは「生きる力」をつけること。子どもたちが数年後、十数年後に自立していくことを意識しながら、小中連携して「生活を工夫して自分でできる」子を育てます。



英語活動／英語

「英語が楽しい!」の気持ちを中学生になっても、もち続けます。

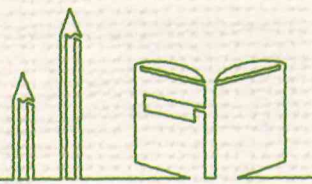
「リズムに合わせて話す・聞く」という小学校時代の英語から、読み書きがある中学英語への変化に戸惑う子は少なくありません。この段差をなくすために、中学で習う表現を小学校でリズムに合わせて歌ったり話したりし、「コミュニケーションするのが楽しい」という気持ちを育てます。「読む・書く」という活動も小5からスタート。英語学習への抵抗感がなくなるしくみです。



道徳

各教科、総合的な学習の時間などで人間としてのよさを育てます。

すべての学年・すべての教科に「道徳教育」があることをご存じですか？ たとえば理科や総合的な学習では昆虫の生態を教科書だけで学ぶのではなく、プールのヤゴを救出し、育て、観察し、触れることで「命ある生き物」を実感させます。その経験をふまえて「命の大切さ」を扱った道徳の授業をおこなうことで、授業のテーマが心の奥までしっかりと届くのです。



国語の力はこう育つ！ 基本的な学習指導計画

	小学校				中学校				
	第1学年 [306時間]	第2学年 [315時間]	第3学年 [245時間]	第4学年 [245時間]	第5学年 [175時間]	第6学年 [175時間]	第1学年 [140時間]	第2学年 [140時間]	第3学年 [105時間]
●総単位:1846時間 小学校1単位:45分 中学校1単位:50分									
読んだことを基に 自分の考えを深め、 表現する	●事柄や時間の順序を考えながら内容の大体を読んだり、場面の様子について登場人物の行動を中心に想像を広げて読んだりし、自分の思いや考えをもつ。	●内容の中心をとらえ、段落相互の関係を考えたり、登場人物の気持ちの変化や情景について叙述を基に想像して読んだりし、感想をもつ。	●事実と感想・意見などの関係をおさえたり、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえたりし、自分の考えをまとめる。				●文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くする。	●文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつ。	●文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつ。
自分の意見を 表現する	●経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く。	●書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書く。	●事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり、詳しく書いたりする。				●伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちの根拠を明確にして書く。	●事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり描写を工夫したりして書く。	●論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書く。
読む楽しさを実感し、 自己の生き方を 向上させることができる	●昔話や神話・伝承などの本や文章の読み聞かせを、聞いたり発表し合ったりして、お話や言葉の楽しさを知る。	●易しい文語調の短歌や俳句の音読や暗唱をしたりして、言葉のリズムを身に付ける。ことわざ、故事成語、慣用句の意味を知り、使えるようになる。	●古文・漢詩・和歌・文語調の文章の音読をし、昔の人のものの見方や感じ方を知る。				●文語のきまりや訓読の仕方を知り、古典を音読し、古典特有のリズムを味わいながら古典の世界に触れる。	●古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像する。	●古典の一節を引用するなどして、古典に関する簡単な文章を書く。

PICK UP

つながる9年間の学び 小中一貫教育により、特に身に付けさせたい力

	小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年	中学校2年	中学校3年
読む	友達との話し合いを通して、自分の思いや考えをもてるようになります。		話し合いにより、一人ひとりの考えに違いがあることに気づき、考えを広げることができます。		話し合いから出てきた多様な視点から、考え方を広げ、深めることができます。		多様な形態の交流を通して、人間や社会、自然などについて考え、自分の体験と結びつけて、意見をもてるようになります。		
書く	順序を考えて、つながりのある文章を書くことができるようになります。(あのね日記)		段落相互の関係に注意し、テーマに沿った日記が書けるようになります。(テーマ日記)		事実と意見を区別して書き、自分の考えの根拠を明確にして書くことができます。(ミニ感想文・ミニ意見文)		適切な構成や文章形態を工夫することで、説得力のある文章が書けるようになります。(批評文・課題作文)		
言葉の教育	百人一首を知り、暗唱に取り組みます。		百人一首の百首暗唱を目指します。		小学6年生と中学1、2年生と百人一首大会を行います。		自分の好きな一首を選び、鑑賞文を書き交流します。		
読書	9年間を通した読書推進(小中一貫おすすめ本リストの使用)								

つながる授業の姿 小中教員の協力による、小学校第6学年の年間指導計画

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元教材	●自分の体験と重ねて読み、感想を書こう[6時間]	●文章と対話しながら読み自分の考えをもとう[7時間] ●学級討論会をしよう[7時間]	●町のよさを伝えるパンフレットを作ろう[12時間]	●伝統文化を楽しもう[6時間]		●短歌を作ろう[4時間] ●自分の考えを明確に伝えよう[14時間]	●作品の世界を深く味わおう[8時間]	●ものの見方を広げよう[5時間] ●読み取ったこと、感じたことを表現しよう[4時間]	●本は友達[8時間]	●言葉について考えよう[5時間] ●随筆を書こう[7時間]	●物語を読んで考えを深めよう[7時間]	●聞く人の心に届くように発表しよう[7時間] ●卒業するあなたたちへ[4時間]

PICK UP
小学6年

小6  学びの重点ポイント 

和泉・新泉地区に関わるテーマを子どもたち自身が考え、自分の立場を明確にした意見もちます。

小6  学びの重点ポイント 

古典のよさに触れます。
(狂言教室)

小6  学びの重点ポイント 

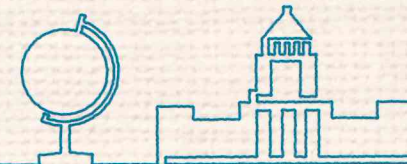
根拠となる事実を調べて、自分の考えを明確に述べる
ことができるように指導します。(平和意見文)

小6  小中教員の協働 

『海の命』の学習の際に書いた児童の感想を中学に引き継ぎ、中学2年の『走れメロス』の教材として使用します。

小6  小中教員の協働 

様々な人の生き方を学び、中学校や将来に向けての自分のあり方や生き方について考えます。
(ようこそ先輩)



社会の力はこう育つ! 基本的な学習指導計画

	小学校				中学校		
	第3学年 [70時間]	第4学年 [90時間]	第5学年 [100時間]	第6学年 [105時間]	第1学年 [105時間]	第2学年 [105時間]	第3学年 [140時間]
社会科の授業に関心をもち、意欲的に調べる力が育つ	●和泉地域の特色ある地形(神田川)や公共施設の見学等を通して、地域を知り、愛着をもつ。		●チーム学習形態を取り入れることにより、進んで調べようとする。	●人物と文化遺産を中心に、歴史授業を展開し、その時代の人になりきって考えることで、歴史学習に興味をもつ。	●授業を通して、世界や日本の地域の特色や時代の流れを学び取り、興味を高め、さらに深く知りたいという探究心をもつ。		●授業を通して、現代社会の政治・経済・国際問題などへの関心や探究心をもつ。
各種の資料を活用し、より広い視野から思考・判断し、適切に表現する力が育つ	●見学、調査等からわかったこと、考えたこと、疑問に思ったことを、ワークシートに記入したり、ポスター・新聞形式でまとめたりする。	●二種類の資料を比較し、共通点や相違点を見出す。		●調べたことを発表しあう中で、わかったことを深めたり、まだよくわからないことを他の資料を使って解決したりする。	●授業で世界や日本の地域や歴史の流れを学んで得た情報から、他地域や過去の時代との比較を通して、特色を考える。また、関心をもったことをレポートにより発表し、表現する。		●授業で学んだ情報を、身近な問題ととらえ、考える。また、レポート発表をし、表現する。
地図・地球儀や年表などの資料を活用し、情報を集めて読み取る力が育つ	●挿絵・写真・地図等の基礎的資料を読み取る。		●地球儀・地図帳・グラフ等を常時活用することにより、多くの情報を読み取る。	●年表・系図・古文書等の資料を比較し、自らの考えをもつ。	●教科書・資料・地図帳や年表を活用し、統計・グラフや分布図、文章資料などから必要な情報を選び、まとめる。		●教科書・資料集・法律や新聞記事などを活用し、必要な情報を選び、まとめる。

PICK UP

PICK UP

つながる7年間の学び 小中一貫教育により、特に身に付けさせたい力

	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年	中学校2年	中学校3年
問題解決型学習	調べたこと、学んだことを一人一人ポスターや新聞の形式でまとめます。		調べたこと、学んだことを班で協力してポスターの形式にまとめ、発表します。みんなで	取り組むことで色々な考えを知ることができます。	地図や資料を十分に活用して調べ、特色や課題について文章や図表、グラフなどでまとめあげ、互いに発表し評価し合うことで問題解決の力を高めます。		
地域教材	・神田川地下調整池 ・郷土博物館	・永福町北口商店街 ・和泉仲通り商店	・玉川上水跡地 ・水道キャラバン	・自動車販売店 ・コンビニ店	・郷土博物館 ・松ノ木遺跡	区教委作成の副読本「のびゆく杉並」を活用し、区の現状や歴史、特色や課題について考え、学び合います。	
小中協働	使用教材や体験・見学場所の共有化を図ります。小学校で中学校の先生が授業をします。		「都道府県特色ノート」を作り、国土について学びます。	「歴史人物ノート」を作り、人物中心に歴史を学びます。	小学校時に作成した「都道府県特色ノート」や「歴史人物ノート」を授業の導入で活用し、特色を振り返ることで、中学校での学習の関心を高め、理解度を上げることができます。		

つながる授業の姿 小中教員の協力による、小学校第5、6学年の年間指導計画

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元教材	わたしたちの国土 [18時間] ●世界の中の国土 ●国土の地形の特色と人々の暮らし ●国土の気候の特色と人々の暮らし		わたしたちの生活と食料生産 [26時間] ●米づくりのさかんな庄内平野 ●水産業のさかんな静岡県 ●これからの食料生産とわたしたち					わたしたちの生活と工業 [24時間] ●自動車をつくる工業 ●工業生産と工業地域 ●工業生産と貿易	情報化した社会とわたしたちの生活 [16時間] ●情報産業とわたしたちの生活 ●社会を変える情報 ●情報を生かすわたしたち		わたしたちの生活と政治 [16時間] ●わたしたちの願いを実現する政治 ●わたしたちの暮らしと日本国憲法	わたしたちの生活と環境 [16時間] ●わたしたちの生活と森林 ●環境を守るわたしたち ●自然災害を防ぐ
単元教材	日本の歴史 [72時間] ●縄文のむらから古墳のくにへ ●天皇中心の国づくり ●武士の世の中へ ●今に伝わる室町文化		●戦国の世から江戸の世へ ●江戸の文化と新しい学問 ●明治の国づくりを進めた人々 ●世界に歩み出した日本				●長く続いた戦争と人々の暮らし ●新しい日本、平和な日本へ					世界の中の日本 [17時間] ●日本とつながりの深い国々 ●世界の未来と日本の役割

PICK UP
小学5年

PICK UP
小学6年

学びの重点ポイント
毎時間都道府県特色ノートを活用し、都道府県の確実な定着を図ります。

小5 小中教員の協働
地球儀を積極的に用いることで世界の地域・国名に親しませ、中学校地誌とつながりをつくります。

小5 学びの重点ポイント
ポスターセッションを取り入れることで、友達の様々な考えに触れさせ、多面的に物事を考える基礎を養います。

小5 小中教員の協働
人物中心の歴史の授業を展開し、「歴史人物ノート」にまとめることで、中学校歴史とのつながりをつくります。

小6 学びの重点ポイント
もし自分が総理大臣だったら…という観点でまとめをし、これからの社会に生きる一員としての意識をもたせます。

小6 学びの重点ポイント
調べる国を選び、5年生の時よりも詳しく海外の国々について学びます。

算数／数学の力はこう育つ! 基本的な学習指導計画

	小学校						中学校		
	第1学年 [136時間]	第2学年 [175時間]	第3学年 [175時間]	第4学年 [175時間]	第5学年 [175時間]	第6学年 [175時間]	第1学年 [140時間]	第2学年 [105時間]	第3学年 [140時間]
数量や図形についての基礎的・基本的な力を身に付ける	●自動ブロックなどを数える。 ●計算の意味や仕方を表す。 ●量の大きさを比べる。	●整数が使われている場面を見付ける。 ●かけ算九九表からきまりを見付ける。	●小数や分数の大きさを比べる。 ●単位の関係を調べる。 ●正三角形などを作図する。	●計算の結果の見積もりをし判断する。 ●面積を実際に測る。 ●平行四辺形などを敷き詰める。	●合同な図形をいかたり、作ったりする。 ●目的に応じて表やグラフを選び活用する。	●単位の関係を調べる。 ●縮図や拡大図、対称な図形を見付ける。	●正の数と負の数、文字を用いることの必要性和意味、平面図形の性質や空間における図形の位置関係、比例・反比例を理解する。	●文字式のはたらき、連立方程式、図形の証明と意味、一次関数の特徴、確率の必要性和意味を理解する。	●数の平方根の必要性和意味、二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係を意味、三平方の定理の意味、標本調査の必要性和意味を理解する。
思考力・表現力を高め論理的に問題解決を図る力を身に付ける	●形を見付けたり、作ったりする。 ●場面を式にする。	●量の大きさの見当を付ける。 ●図形をいかたり、作ったりする。 ●図や式に表し説明する。	●計算の仕方を考え説明する。 ●資料を分類整理し、表を用いて表す。	●面積の求め方を考え説明する。 ●身の回りの数量関係や図形の性質を調べる。	●計算の仕方を考え説明する。 ●面積の求め方を考え説明する。 ●図形の性質を帰納的・演繹的説明する。	●計算の仕方を考え説明する。 ●比例の関係をを用いて問題を解決する。	●日常生活で数学を利用する。 ●基礎的・基本的な知識と技能を活用し、事象を見通し論理的に考察したり表現したりする。	●日常生活や社会で数学を利用する。 ●基礎的・基本的な知識と技能を活用し、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現する。	●日常生活や社会で数学を利用する。 ●基礎的・基本的な知識と技能を活用し、事象に潜む関係や法則を見いだしたり、数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現する。

つながる9年間の学び 小中一貫教育により、特に身に付けさせたい力

	小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年	中学校2年	中学校3年
計算力・思考力	●ものの個数を数えたり、順番を正しく数えたりするなどして、数の意味について理解するとともに、たし算・ひき算・かけ算・わり算ができるようにします。 ●具体的なもの(ブロックや百玉ソロバンなど)を操作することを通して考えることを徹底し、楽しみながら学びます。 ●徐々に、言葉、数、式、図を用いて考えることができるようにしていきます。				●整数の性質についての理解を深めるとともに、小数・分数を含めた四則計算(加減乗除)ができるようにします。 ●見積もりや解決の見通しをもって適切な判断をしながら主体的に問題解決をしていきます。作業的・体験的な活動や調べたりする活動を通じて、探究的に学びます。 ●問題解決の仕方を言葉、数、式、図、数直線を用いて考え、説明します。 ●友達の説明を聞き、自分の考えを深めます。			●文字を用いた式の計算・変形ができるとともに、平方根を含む計算ができるようにします。 ●問題解決のため、表や線分図など様々な方法から、自分の考えを表現し、説明する力を育てます。	

つながる授業の姿 小中教員の協力による、小学校第4学年、中学校第1学年の年間指導計画

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元教材	①大きな数[7時間] ②わり算の筆算[12時間]	③折れ線グラフ[9時間] ④がい数[6時間]	⑤わり算の筆算[14時間]	⑥式と計算[8時間]		⑦がい数を使った計算[6時間] ⑧整理のしかた[4時間] ⑨面積[14時間]	⑩角[7時間]	⑪小数のしくみとたし算、ひき算[10時間] ⑫垂直、平行と四角形[13時間]	⑬そろばん[2時間]	⑭小数と整数のかけ算、わり算[15時間]	⑮変わり方[5時間] ⑯分数の大きさとたし算、ひき算[9時間]	⑰立体[8時間]
単元教材	1章 正負の数[25時間] ①正負の数 ②加法と減法 ③乗法と除法 ④問題演習、まとめ		2章 文字と式[16時間] ①文字を使った式 ②文字式の計算 ③問題演習、まとめ	3章 方程式[6時間] ①方程式		3章 方程式[11時間] ②1次方程式の利用 ③問題演習、まとめ	4章 比例と反比例[19時間] ①比例 ②反比例 ③比例と反比例の利用 ④問題演習、まとめ	5章 平面図形[19時間] ①図形の基礎 ②いろいろな作図 ③図形の移動 ④円とおうぎ形 ⑤問題演習、まとめ	6章 空間図形[18時間] ①いろいろな立体 ②立体のいろいろな見方と表し方 ③立体の表面積と体積 ④問題演習、まとめ		7章 資料の散らばりと代表値[26時間] ①資料の散らばりと代表値 ②近似値と有効数字 ③問題演習、まとめ	

小4 学びの重点ポイント

学年の実態に応じ、1学級を均等または習熟度別に2分割した少人数によるきめ細かな授業を実施します。

年度初めには、前年度の復習を行い、定着度を確認するとともに、繰り返し学習による基礎・基本の定着を図ります。

小4 学びの重点ポイント

学級を分割した少人数によるきめ細かな授業を実施します。

年度初めには、算数計算力確認テストを実施し、定着度を確認するとともに、放課後補習による基礎・基本の定着を図ります。

小4 小中教員の協働

すべての単元において問題解決学習(課題把握、自力解決、解答、まとめ)を充実させ、見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てます。特に、中学校の証明問題につなげます。

小4 小中教員の協働

小学校教員とのチーム・ティーチングによる夏季パワーアップ教室を実施し、基礎の学習や発展的な内容の学習を行います。

小4 小中教員の協働

1学期の定着度を基に、学級を分割した習熟度別少人数によるきめ細かな授業を実施します。基礎クラスにおいては、定期的な小学校教員とのチーム・ティーチング授業やICTを活用した授業を実施し、基礎・基本の定着を図ります。

小4 小中教員の協働

問題解決学習(課題把握、自力解決、発表、解答、まとめ)を充実させ、数学的な表現を用いて、自分なりに説明できるようにし、思考力・表現力を身に付けます。小学校6年の授業にゲストティーチャーとして参加し、筋道立てて説明し伝え合う授業を行います。

小4 学びの重点ポイント

学年のまとめのテストを行い、定着度を確認します。中学校の『正負の数』や『文字と式』の計算につながるので、繰り返し学習や補習による基礎・基本の定着を図ります。



理科の力はどう育つ！ 基本的な学習指導計画

	小学校				中学校		
	第3学年 [90時間]	第4学年 [105時間]	第5学年 [105時間]	第6学年 [105時間]	第1学年 [105時間]	第2学年 [140時間]	第3学年 [140時間]
●総単位:790時間 小学校1単位:45分 中学校1単位:50分							
自然現象に知的好奇心や探究心をもって親しむ	●似ている点や違う点、変化やその原因に着目して、問題を見いだす。	●条件に目を向けたり、量の変化や時間を見いだす。	●条件に目を向けたり、量の変化や時間を見いだす。	●変化に着目したりして問題を見いだす。	●現象からなぜそうなるのだろうかという、疑問をもつことを大切にし、その疑問を実験を通して解決へとつなげていく。		
目的意識をもって観察や実験を行う	●見いだした問題を解決するために、興味・関心をもって実験を行う。	●見いだした問題を解決するために、計画を立てて実験を行う。	●見いだした問題を解決するために、計画を立てて実験を行う。	●画的に実験を行う。	●自分で発見し、気付くことを主体としながらも、結果として注目すべきところがどこかを理解して実験を行う。		
実験観察の中で、結果から考察し表現する力を身に付ける	●自然の事物・事象の似ている点や違う点を比べて表現したり、変化やその原因とを関係づけて表現したりする。	●自然の事物・事象の変化やはたらきに推論して表現する。	●自然の事物・事象の変化やはたらきに推論して表現する。	●ついて、その要因や規則性、関係性を推論して表現する。	●科学的な事物・事象について、観察、実験の結果を分析して解釈し、自分の言葉で表現する。		

PICK UP

つながる7年間の学び 小中一貫教育により、特に身に付けさせたい力

	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年	中学校2年	中学校3年
電気のはたらき	乾電池の+極と-極をつないで、豆電球に明かりがつく実験をします。	乾電池の直列つなぎ・並列つなぎをし、豆電球の明るさとの関係を考えます。光電池についても学習します。	電磁石とふつうの磁石の違いを実験から知り、暮らしの中の電磁石を学習します。	手回し発電機を使い、光、音、熱などへの電気の利用を考えます。	電流回路についての観察、実験を行い、電流と電圧との関係をグラフにします。日常生活と電気の関係も学習します。		

つなげる授業の姿 小中教員の協力による、小学校第3学年の年間指導計画

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
単元教材	●しぜんのかんさつをしよう1 [4時間]	●植物をそだてよう1 ・たねまき [5時間]	●こん虫をそだてよう [11時間]	●植物をそだてよう2 葉・くき・根 [2時間]	●しぜんのかんさつをしよう2 [4時間]	●植物をそだてよう3 花 [2時間]	●植物をそだてよう4 花がおわたあと [4時間]	●風やゴムのはたらきをしらべよう [7時間]	●太陽のうごきと地面のようすをしらべよう [10時間]	●光のはたらきをしらべよう [6時間]	●ものの重さをしらべよう [5時間]	●豆電球にあかりをつけよう [8時間]	●じしゃくのふしぎをしらべよう [8時間]	●おもちゃショーをひらこう [2時間]

PICK UP 小学3年



学校の花壇にキャベツの苗を植えて、モンシロチョウが卵を産みつけやすいようにします。卵からかえたら、虫かごに入れて成虫になるまで継続観察します。区立の科学館から蚕を提供してもらい、学校や地域にある桑の葉を与えながら、繭になるまで育てます。繭から糸を作る体験もできるようにします。中学校では、蝶を含め、動物の分類を学習します。



小学校理科として初めての実験単元です。風やゴムの力を使って、車を動かす実験をします。実験の前に、条件を変えると動き方がどのように変わるかを、みんなで話し合い、予想してから、実験をします。中学校では、力によって物が動くことをより論理的に考えます。



磁石を使った活動を通して、引きつけられる物と引きつけられない物を見分けることや、磁石の性質について指導します。中学校では、磁石と電気を組み合わせる物が動くことも指導します。



音楽の力はこう育つ！ 基本的な学習指導計画

	小学校				中学校				
	第 1 学年 [68時間]	第 2 学年 [70時間]	第 3 学年 [60時間]	第 4 学年 [60時間]	第 5 学年 [50時間]	第 6 学年 [50時間]	第 1 学年 [45時間]	第 2 学年 [35時間]	第 3 学年 [35時間]
音楽に対する感性を育てる	●音や音楽に親しみをもって聴く。 ●様子を思い浮かべて音楽を楽しむ。		●いろいろな楽器の音色を感じ取る。 ●旋律の特徴や音の重なりを感じ取る。 ●日本の民謡を聴いて特徴を感じ取る。		●オーケストラの響きを感じ取る。 ●日本の伝統音楽や諸外国の音楽などのよさに触れる。 ●曲想を感じて聴く。		●音楽の諸要素を意識して聴いたり、感じたりする。 ●箏の音色の美しさを感じ取ったり、体験的に演奏したりする。		●音楽を通して感動を共有する。 ●世界の音楽文化に親しむ。
音楽表現の技能を高める	●リズムに合わせて音楽を楽しむ。 ●音の高さに気を付けて歌う。		●楽譜を見ながら階名で歌ったり、演奏したりする。 ●拍の流れにのって歌う。 ●美しい斉唱を楽しむ。		●階名唱に慣れ、楽譜を読む力を付ける。 ●ハーモニーの美しさを表現する。 ●同声二部合唱で曲想表現を楽しむ。		●楽譜を読むことに慣れる。 ●ハーモニーの美しさを豊かに表現する。 ●混声三部合唱で曲想表現を楽しむ。		●音楽の要素を活かして演奏する。 ●音楽のよさを感動的に表現する。

PICK UP

つながる9年間の学び 小中一貫教育により、特に身に付けさせたい力

	小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年	中学校2年	中学校3年
表現力	●様々な音楽や音を集中して聴く習慣を身に付け、音楽の興味・関心を高めるようにします。 ●音楽遊び、音楽づくり、様々な歌声や楽器の音色による表現を楽しみながら体験し、さらに音楽を表現したい児童を育てます。				●身に付けた技能を生かして自ら楽しんで表現できるようにします。 ●個に合わせた発声指導を行い、美しい合唱表現の力を付けます。 ●連合音楽会での発表を通し、表現の楽しさを広げます。 ●連合音楽鑑賞教室を行い、生演奏を聴き豊かな情操を養い表現力の基とします。			●思考力・判断力・表現力を高めることを通して、将来にわたって豊かな音楽表現を楽しめるようにします。 ●校内合唱コンクールの開催など発表活動の場の設定により、心と心をつなげ、共鳴、共感の心を育て表現力の向上を目指します。	

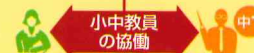
つながる授業の姿 小中教員の協力による、中学校第1学年の年間指導計画

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元教材	●旋律の特徴を生かして歌おう。 ●自分もっている歌声を見つけよう。 ●曲の構成や曲想の変化を感じ取って聴こう。教材例「春」 [8時間]		●言葉を大切に歌おう。 ●読譜力を身に付け混声合唱を楽しもう。 [10時間]			●和音の美しさを感じて混声合唱しよう。 [4時間]	●合唱コンクールを目指して豊かな曲想表現を楽しもう。 ●詩と音楽の関わりを感じ取って鑑賞しよう。教材例「魔王」 [10時間]	●音階の特徴を知ろう。 ●日本の伝統音楽に親しもう。 [4時間]		●アジアの民族音楽を知ろう。 ●箏曲の鑑賞と演奏体験をしよう。 [3時間]		●自分たちで美しい混声合唱をつくり上げよう。 [6時間]

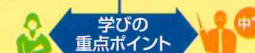
PICK UP 中学1年



小学校、中学校教員のT・Tによるきめ細かな授業を実施します。楽しい音楽活動の繰り返し学習により基礎・基本の確実な定着を図ります。



身に付けた技能を表現に結びつけ、生徒の自ら学ぶ力を発揮できる合唱コンクールの場を設けます。小中教員による協働での開催により、感動の共有を目指します。



自分のよさをの伸び伸びと表現できる、思考力・判断力・表現力を身に付け、将来にわたって音楽を楽しめる授業を行います。



図画工作／美術の力はどう育つ！ 基本的な学習指導計画

●総単位:473時間 小学校1単位:45分 中学校1単位:50分	小学校						中学校		
	第 1 学年 [68時間]	第 2 学年 [70時間]	第 3 学年 [60時間]	第 4 学年 [60時間]	第 5 学年 [50時間]	第 6 学年 [50時間]	第 1 学年 [45時間]	第 2 学年 [35時間]	第 3 学年 [35時間]
主体的に課題に取り組むことができる	●思いのままに表す。 ●進んで表したり見たりする。		●自分の思いで表現する。 ●進んで表現したり鑑賞したりする。		●自分の思いをもって表現する。 ●主題の表し方を構想し多様な表現を工夫する。		●創造活動に興味・感心をもち、美術の基礎的な能力を伸ばす。 ●多様な表現のよさや美しさを味わい創造的な美しさを追求する。		
色や形のよさを実感し、それらを活用することができる	●形や色、つくり方などを考える。 ●進んで材料に働きかけ感じたことを表す。		●形や色などを基に造形的な活動を思いつく。 ●美しさや用途を考えて自分なりに構想する。		●形や色、用途や構成などを考える。 ●つくりたいものの意図や美しさを考える。		●形や色などの構成を工夫し、効果を考え、創意工夫する。 ●目的や機能を考えて、発想や構想していく造形活動をする。		
造形活動の中で自分の考えや思いを表現することができる	●体全体の感覚や技能を働かせる。 ●表したいことに合わせて材料や用具を使う。		●手や体全体を充分に働かせ造形的な能力を伸ばす。 ●材料や用具の特性を生かして、技能や表し方を工夫する。		●様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高める。 ●主題の表し方、自分らしい表現の構想をする。		●感じ取ったことや考えたことを基に発想や構想していく造形活動をする。 ●対象やものごとを深くみつめ、自分らしく心豊かな表現を構想する。		

PICK UP

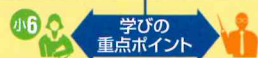
つながる9年間の学び 小中一貫教育により、特に身に付けさせたい力

	小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年	中学校2年	中学校3年
描画活動	パスやカラーペンを使った線や点の表現やめりこみ表現、指など体全体でかかわる表現活動をしします。		身近なものをスケッチし、鉛筆や墨で表現し、水彩絵の具で彩色します。様々な描画材を体験します。		自分の持ちものや気になる景色など、主体的に主題を決め、描画材を選択しながらスケッチします。		身近なものや、幾何学形態のデッサンを通して、鉛筆による線の使い分け、濃淡、陰影について学びます。透視図法を取り入れた風景画など、それまでの表現方法を創意工夫して表します。		
用具の扱い 安全指導	1年生で、はさみ、2年生ではカッターナイフや小刀などの、持ち方から始め、基本を学習します。		中学年では、木工を通して鋸の使い方、げんのうでのくぎ打ちなどを学習し、木を加工します。		高学年では、電動糸鋸機や、針金など、多様な材料や用具を、用途に合わせて選択しながら、表現します。		デザインや彫刻の制作活動を通して、彫刻刀などの用具の使い方を用途に合わせて工夫し、効果的に表現します。		

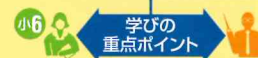
つながる授業の姿 小中教員の協力による、小学校第6学年の年間指導計画

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元教材	帆船を造る [24時間] ●鋸、万力、ヤスリ、小刀等の道具の正しい使い方を確実に習得する。					工具のロボット [4時間] ●見立て、発想や構想力の力をつける。	こんな感じ・漢字 [6時間] ●感じの持つ意味と形を考え、デザインする。	ペーパーナイフ [6時間] ●紙を切るという実用性をもったナイフを、ヤスリや小刀で仕上げる。		MYウォッチ [6時間] ●工具の使い方を身に付け、デザインを重視した制作活動を行う。		サンクスカード [4時間]

PICK UP
小学6年



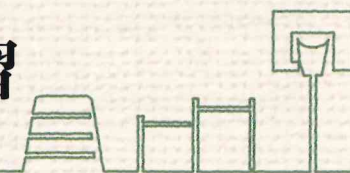
鋸の使い方を安全に正しく使いこなせるように復習の意味も含めて確認し、しっかりと身に付けるよう指導する。また紐や糸の扱い方も、再度指導する。



自分の名前の漢字を、自分の性格や気持ちを盛り込んでデザインする。自分自身に目を向け、ふさわしい描画材料を選択し表現する。



電動糸鋸機を正しく安全に扱い、自分一人で操作が出来るよう復習しながら、身に付ける。

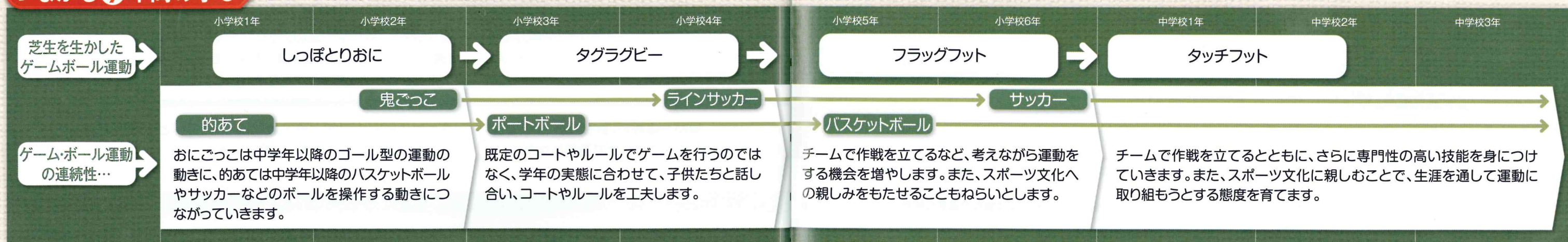


体育／保健体育の力はどう育つ！ 基本的な学習指導計画

	小学校					中学校			
	第①学年 [102時間]	第②学年 [105時間]	第③学年 [105時間]	第④学年 [105時間]	第⑤学年 [90時間]	第⑥学年 [90時間]	第①学年 [105時間]	第②学年 [105時間]	第③学年 [105時間]
身に付けたい動き	●基本的な動きを身に付け、体力を養う。		●各種の運動の基本的な動きや技能を身に付け体力を養う。		●運動の特性に応じた基本的な技能を身に付け体力を高める。		●運動に関する知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践する。		●運動に関する知識や技能を高め、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにする。
育てたい態度	●友達と仲良くし、健康・安全に留意し意欲的に運動する態度を育てる。		●協力、公正などの態度を育てるとともに、最後まで努力して運動する態度を育てる。		●協力、公正などの態度を育てるとともに、自己の最善を尽くして運動する態度を育てる。		●自己の役割を果たすなどの意欲を育て、自己の最善を尽くして運動する態度を育てる。		●自己の責任を果たす、参画するなどの意欲を育てるとともに、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。
考える視点	●簡単な決まりや活動を工夫して運動を楽しむ。		●活動を工夫して各種の運動を楽しむ。		●活動を工夫して、運動の楽しさや喜びを味わう。		●運動の合理的な実践を通して、体力を高め、心身の調和的発達を図る。		●運動の合理的な実践を通して、自己の状況に応じて、体力を高める能力を育て心身の調和的発達を図る。

PICK UP

つながる9年間の学び 小中一貫教育により、特に身に付けさせたい力



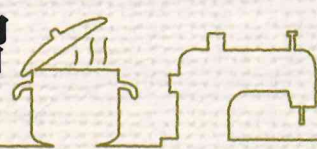
つながる授業の姿 小中教員の協力による、小学校第6学年の年間指導計画

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元教材	体づくり運動 [8時間] ●体ほぐしの運動 [2時間] ●体力を高める運動 [6時間]	ボール運動 [7時間] ●フラッグフットボール 器械運動 [4時間] ●マット運動 陸上運動 [4時間] ●ハードル走	水泳 [10時間] ●水泳 陸上運動 [3時間] ●幅跳び			表現運動 [8時間] ●表現、リズムダンス 体づくり運動 [5時間] ●体力を高める運動 陸上運動 [5時間] ●短距離走	陸上運動 [3時間] ●高跳び 器械運動 [5時間] ●鉄棒運動	ボール運動 [5時間] ●ソフトバレーボール 保健 [4時間] ●病気の予防	ボール運動 [5時間] ●バスケットボール 体づくり運動 [4時間] ●体力を高める運動	ボール運動 [6時間] ●サッカー 保健 [4時間] ●病気の予防		

陸上運動領域では、中学の体育の教員が補助として授業に入り、T・Tの授業を行っています。中学校の教員が入ることによって、より専門的な内容を学習することができます。また、体育をT・Tで行うことにより、子供の技能に応じた指導をより細やかに行っていきます。

器械運動領域において、小学校の低・中・高、中学校それぞれの段階で身につけておきたい技を明確にして指導を行っています。また、それぞれの技の技能ポイントを明確にし、できるようになるための場を設定し、小学校で身に付けておきたい技能を習得できるようにします。

体育の学習では、最後にノートやカードを活用して学習を振り返るようにします。継続的に取り組むことで、考える力（思考・判断）も伸ばしていきます。



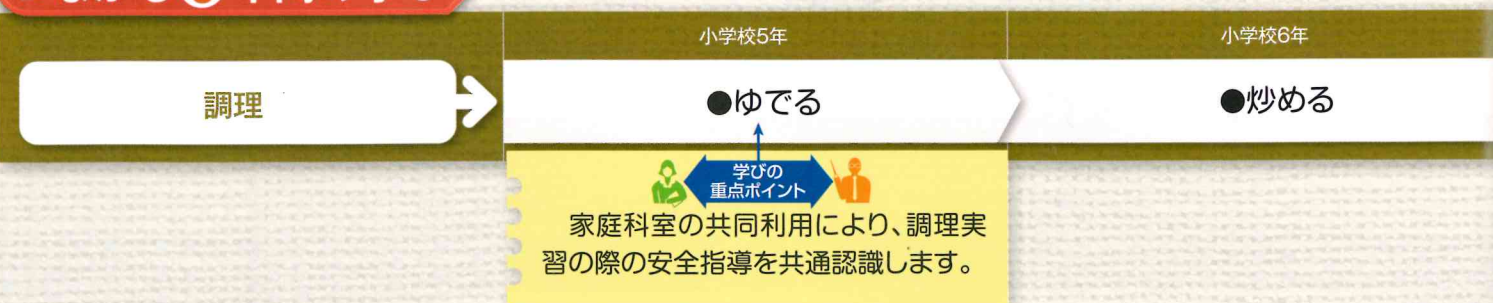
家庭科の力はどう育つ！

基本的な学習指導計画

	小学校	
	第5学年 [60時間]	第6学年 [55時間]
主体的に課題に取り組む	●家庭生活を見つめる。	
体験的な学習を通して生活に活用する	●調理の基礎に関心を持ち、計画を立てて実習する。 ●生活に役立つ物の製作をする。	
正しい情報選択をし、実生活に活かす	●正しい情報を身に付け、物や金銭の大切さに気付く活動をする。 ●環境に配慮した生活を工夫する。	

つながる5年間の学び

小中一貫教育により、特に身に付けさせたい力



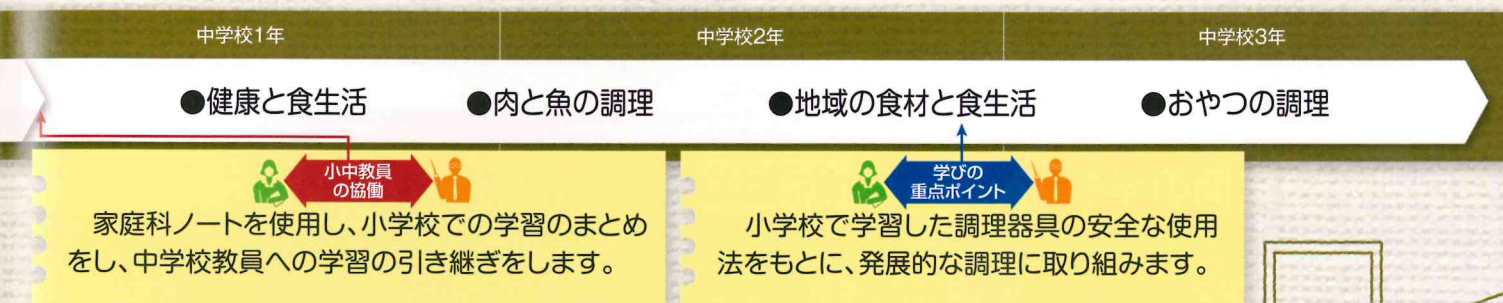
技術科の力はどう育つ！

基本的な学習指導計画

	中学校	
	第1学年 [35時間]	第2学年 [35時間]
主体的に課題に取り組む	●デジタル化した情報の長所と短所をについて考え、情報を扱う際のルールやマナーなどの必要性を理解し制作に取り組む。 ●エネルギーの有効活用のため、日々の生活の中で利用する機器の適切な利用法などを考え実習する。	●身の回りにある製品に使われている材料の種類と特徴を考え、工夫して木材加工の製作に取り組む。 ●作物を取り巻く環境要因を考え、状況に応じた栽培方法を選択し実習する。
体験的な活動を通して生活に活用する	●コンピュータを構成するハードウェアやソフトウェアの種類や役割を知り、適切に情報を活用して実習をする。 ●機器の安全な利用と保守点検について知り、事故防止の具体的な方法を身に付ける実習を行う。	●工具のしくみと安全な使い方を理解し、正しく工具を使って材料の加工ができる実習をする。 ●作物と地域による栽培時期の違いを知り、見通しをもって栽培の実習に取り組む。

中学校

第1学年 [35時間]	第2学年 [35時間]	第3学年 [35時間 (技術・家庭)]
●衣服と社会生活に関心を持ち、TPOに応じた着用を身につける。	●消費を理解し、消費者としての態度を身に付ける。	●家庭生活や家族関係をよりよくするための活動をする。
●ミシンや用具を適切に取扱い、制作を行う。	●栄養の特徴を考え、中学生としての自分の献立をたてて実習する。	●幼児に適した遊びや遊び方について工夫し、制作する。
●衣服を再利用した作品の制作など、環境に配慮した衣生活を実践する。	●品質表示マーク類を読み、安全と衛生に留意し調理する。	●自分の家族や周囲の人など、社会の役割を理解する。



技術科つなげる授業の姿

小中教員の協力による、中学3学年年間の指導計画

学年	第1学年			第2学年	第3学年	
	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期
単元教材	情報に関する技術 [20時間] ●ネットワーク、情報モラル、プログラムなどの情報における基本的技術を習得する。	エネルギー変換に関する技術 [15時間]	材料と加工に関する技術 [25時間] ●木材加工の製作を行うことにより、材料の特徴と利用方法を学び、材料に適した加工法と工具の安全な使い方を習得する。	生物育成に関する技術 [10時間]	情報に関する技術 [12時間] ●デジタル作品の制作、発表を行うことにより、多様なメディアの複合、表現や発信ができるようになる。	まとめ [5.5時間]
	小学校総合的な学習の時間におけるパソコン授業。キーボードのうち方から、調べ学習、レポートづくりなどの学習体験を経て、より高度な情報処理の学習へとつなげていきます。			小学校図画工作科の中学年から始まる、鋸の使い方、げんのうでのくぎ打ちなど。小中での共通した指導を進めています。		

英語活動／英語の力はどう育つ！ 基本的な学習指導計画

●総単位:595時間 小学校1単位:45分 中学校1単位:50分	小学校				中学校				
	第1 学年 [17時間]	第2 学年 [18時間]	第3 学年 [35時間]	第4 学年 [35時間]	第5 学年 [35時間]	第6 学年 [35時間]	第1 学年 [140時間]	第2 学年 [140時間]	第3 学年 [140時間]
	体験的な活動を通して、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ				小学校で培った外国語の音声や基本的な表現を生かしながら、聞く・話す・読む・書くことの基礎力を身に付ける				
コミュニケーションを 目的として、 英語を運用することが できる基礎力をもつ	●外国語(英語)の音声を通して、積極的に表現をまねたり、友達と関わったりする。	●音声で慣れ親しんだ外国語(英語)表現を、アイコンタクトやジェスチャーを使って伝えたり、それを使って積極的にコミュニケーションを図ったりする。	●日本語と外国語の音声の違いに興味をもち、音声的特徴に気付く。 ●文化的な行事に関する体験的な活動を通して、その背景にある文化に関心をもつ。	●音声で慣れ親しんだ外国語(英語)の表現を使って、自身や生活に関わることに自分のことを伝えたり、相手のことを知ったりするために積極的にコミュニケーションを図る。		●目線やジェスチャーに気を付けて正確なアクセントで発音したり発表したりする。 ●自分や家族、友達のことなどを聞いて理解し、表現しようとする。		●相手の意見や身の周りの出来事などについての自分の考えをまとめ表現して、コミュニケーションを図ろうと取り組んでいく。	●自分の意見を友達と交換しあったり、いろいろな考えや意見などの中から、自分の考えを表現し、コミュニケーションをとろうとしていく。
英語を通じて、 我が国や外国の言語や 文化を理解を深める				●体験的な活動を通して、外国語の表現や文化に触れる。	●日本語と外国語の音声の違いに興味をもち、音声的特徴に気付く。 ●文化的な行事に関する体験的な活動を通して、その背景にある文化に関心をもつ。		●日本語と外国語の音声的な特徴や、言語運用の姿勢・態度の違いに気付く。 ●外国の文化に関する体験的な活動を通して、文化の背景にある日本人と外国人のものの見方や考え方に触れ、その相違点に気付く。		●日本語と異なる英語の文字や符号を理解し、正しく読む。 ●文の構造の違いを理解し、基礎的な知識の定着を図る。

PICK UP

※階段状になっているのは、指導内容の割合を示しています。

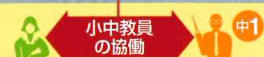
つながる9年間の学び 小中一貫教育により、特に身に付けさせたい力

	小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年	中学校2年	中学校3年
目標	英語の音やリズムに慣れ親しみながら、決まり文句を習得				音と文字の関係の理解と自己表現力の向上			4技能のバランスに配慮した積極的なコミュニケーション力の育成	
具体的な活動	歌やチャンツ		スキット活動		自己紹介		友達紹介	町の紹介	日本の紹介
積極的態度の育成	音声による多量のインプットスタート!		インプットを継続しながらアウトプット(発話)を促します。		アウトプット(発話)の機会を増やし、自分のことを発信します。		話題を広げ、友達や家族などを紹介します。	自分の住んでいる町(和泉地区/杉並区)を紹介します。	世界に興味をもち、日本のことについて紹介します。

つながる授業の姿 小中教員の協力による、中学1学年の年間指導計画

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元教材	●挨拶 アルファベット教室で使う英語 [10時間]	●私は～です。 あなたは～です。 be動詞 I am~/ You are~. 数・曜日・天気 [12時間]	●動詞を使った文。 I like~. 何(What),いくつ(How many)の疑問文 [15時間]	●動詞を使った文。 this/that/whereの疑問文/ 彼は he/ 彼女は she~です。 時刻を尋ねる。 [12時間]		●彼(女)は～します。 She plays~/ 彼(女)は～しますか。 Does he like~/? 彼(女)は～しません。 She doesn't like~. 季節・月・順番・日付の言い方 [14時間]	●誰が(Who),いつ(When),どちら(Which), 誰の(Whose)の疑問文 [16時間]	●～できます(can)の文 どのように、方法手段(how)の疑問文 [16時間]	●～しているところ です (現在進行形の文) [12時間]	●～しました(一般動詞過去文)なぜ(Why)の疑問文、 なぜならば(Because-)の文 [12時間]	●不規則な一般動詞過去 (had, came, saw など)の文 [12時間]	●まとまりのある文章を読み、理解する。 [9時間]

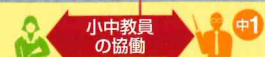
PICK UP
中学1年



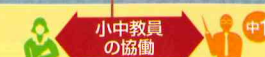
小学校で、数、曜日、天気について歌を使って学習させています。



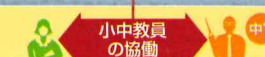
小学校で、時刻に関する表現に慣れ親しむ活動を行っています。
What time is it?



小学校で、リズムに合わせた歌を使って学習しています。



小学校で、リズムに合わせた歌を使って学習しています。
When's your birthday?



小学校で、リズムに合わせた歌を使って学習しています。
What can you do?
I can swim.



道徳の力はどう育つ

基本的な学習指導計画

●総単位:314時間 小学校1単位:45分 中学校1単位:50分		小学校				中学校				
		第1学年 [34時間]	第2学年 [35時間]	第3学年 [35時間]	第4学年 [35時間]	第5学年 [35時間]	第6学年 [35時間]	第1学年 [35時間]	第2学年 [35時間]	第3学年 [35時間]
社会貢献	正直・明朗	●うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活する。		●過ちは素直に改め、正直に明るい心で元気に生活する。		●誠実に、明るい心で楽しく生活する。		●自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。		
	思いやり・親切	PICK UP ●幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。	●相手のことを思いやり、進んで親切にする。		●だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。		●温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。			
	生命尊重	●生きることを喜び、生命を大切にすることを。		PICK UP ●生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする。	●生命がかけがえないものであることを知り、自他の生命を尊重する。		●生命の尊さを理解し、かけがえない自他の生命を尊重する。			
	役割と責任の自覚					●身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。 PICK UP		●自己が属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。		
	勤労	●働くことのよさを感じて、みんなのために働く。		●働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。		●働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。		●勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。		
	郷土愛 愛国心 国際理解	●郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。		●郷土の伝統と文化を大切にし、郷土を愛する心をもつ。 （郷土愛） ●我が国の伝統と文化に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化に関心をもつ。 （愛国心・国際理解）		●郷土や我が国の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。（郷土愛・愛国心） ●外国の人々や文化を大切にする心を持ち、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努める。 （国際理解）		PICK UP ●地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。（郷土愛） ●日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。（愛国心） ●世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する。（国際理解）		

「道徳の授業」をより深めるために他教科等と関連させた指導と実践

新泉・和泉地区の小中一貫教育では、全教科の中に道徳の授業に関連づけられる単元を探し、単元学習の中で意識的に道徳教育を取り入れています。たとえば理科では小さな命をいづくしむ心を育て、国語の教材からは平和の大切さや家族の愛情を伝え、社会科では国づくりへの理想に燃えた人々の志を学び、その学習を道徳の授業に還元させるのです。この取り組みを年齢に応じて9年間続けることで、どんな時代、どんな社会であっても、たくましく生き抜き、人と人との和の中で幸福をつかめる「人間力」の基礎をつくります。

PICK UP
小学1年

道徳授業

関連を図る授業・指導

思いやり・親切

日常生活
●入学間もないころ、6年生に優しく接してもらいながら、学校生活を始めることにより、親切にされる心地よさを感じることができる。

特別活動
●縦割り活動で、上級生に支えられながら活動し、全校児童と交流する中で、わがままをおさえる行動ができるようになる。

資料「よかったね、さっちゃん」

国語
●係り活動で、学級の仕事を進める中で、友達との関わりの中で親切に接することを知る。

生活「新一年生を迎えよう」
●読書活動として、絵本を友達と読み合うことを継続して行うことにより、相手にわかりやすく読もうとする態度を形成する。

資料「はしのうえのおおかみ」
●新一年生を迎えて、どのように接したり、話しかけたりすれば、相手を楽しませることができるかを考えて工夫する。

PICK UP
小学3年

道徳授業

関連を図る授業・指導

生命尊重

資料「わすれられないおくりもの」
理科「こん虫を育てよう」
●カイコ、チョウの飼育を通して、命が誕生してその生を終えるまでを見つめ、生命の大切さを考える。

総合「ヤゴ救出作戦」
●ヤゴの生態について、紙芝居やゲストティーチャーの話から学んだ後、プールでヤゴをとって、学校で飼育する。えさやりと水やりの苦勞を体験し、羽化する喜びを

資料「ぼくの妹に」

国語
●全員で分かち合う。また、世話をしても途中で失われる生命もあることを知る。

総合「ペットボトル芝生大作戦」
●芝の種をペットボトルで栽培し、カッティングを繰り返すことにより強い芝を育てていく。栽培した芝は、校庭に補植し、緑の美しい芝生を実現させ、植物を栽培する楽しみを味わう。

資料「いのちのまつり」
国語「ちいちゃんのかげおくり」
●物語の読み取りを通して、戦争によって失われた生命、家族の強い絆等について考える。

PICK UP
小学6年

道徳授業

関連を図る授業・指導

役割と責任の自覚

国語「平和について考える」
●平和の実現のために、社会全体で取り組むこと、自分自身が社会の中でどのようなことができるのかを考え、意見文としてまとめる。

総合「商品開発プロジェクト」
●市場調査や商品評価会など地域の人々との関わりを大切にしながら、友達と協力して商品開発・販売活動を行う。活動を通し、社会の中には様々な役割がある事を知る。

資料「ぼくの仕事は便所そうじ」

社会「明治の国づくりをすすめた人々」
●日本の行く末を考え、国をよりよくしようと活躍した人々について調べる。また、それぞれの人物や当時の人々の気持ちについて調べた内容をもとに考える。

家庭「考えよう これからの生活」
●家庭や地域の中で、自らが果たしている役割を見直し、家族や地域の人々のためにさらにできることを考え、実践する。

資料「『あの日のわたし』と『今のわたし』」
総合「未来に向かって生きる」
●自分が将来就きたい職業についての調べ学習や職場体験を通して、社会のなかで自分が果たせる役割について考える。

PICK UP
中学3年

道徳授業

関連を図る授業・指導

勤労・国際理解・人類愛

資料「てんびんばかり」
国語「説得力ある考えを述べよう一批評文を書く」
●批評文を書き、読み合うことを通して、社会のさまざまな物事を自分なりの価値基準を明確にして評価することができるようになる。

社会「よりよい社会をめざして」
●よりよい社会を築いていくために解決しなければならない課題について、地球に住む一人の人間として自分たちに何ができるかを考える。

資料「もっとも悲しむべきことは、病めることでも貧しいことでもなく」

総合「社会貢献活動」
●企業のCSRについて学び、社会のために自分たちにできることを考え、募金や寄付を通して実行する。大学生や社会人、商店街の方々と触れ合う中で、社会貢献に関する見方や考えを学び、深める。

総合「保育体験」
●幼児への保育を通して働くことの大切さを実感するとともに、自らの成長を実感し、社会生活の充実に役立てる。



新泉・和泉
小中一貫教育



ひとふでがきの思い、届け！
この「学習案内」のイラストは、「ひとふでがき」で描かれています。
これは、小1から中3までの教育がひと続きであること、
そして「このようにつなげていくのだ」という
新泉・和泉地区の心意気を示しています。
私たちの思いが、皆さまに届きますように。

杉並区立 和泉中学校

〒168-0063 東京都杉並区和泉2-17-14
tel.03-3322-7671 fax.03-3322-3574
url.<http://www.suginami-school.ed.jp/izumichu/>

杉並区立 新泉小学校

〒168-0063 東京都杉並区和泉1-44-26
tel.03-3322-4251 fax.03-3322-2761
url.<http://www.suginami-school.ed.jp/shinsenshou/>

杉並区立 和泉小学校

〒168-0063 東京都杉並区和泉2-17-21
tel.03-3322-4254 fax.03-3322-8336
url.<http://izel.sakura.ne.jp/izumi/>